



PPG HI-TEMP 1027™

過酷な温度条件において優れた保護力でCUI(被覆材下腐食)を防止

- 優れた耐(腐)食性を持つと同時に-185°Cから650°C (-300°F to 1,200°F)に及ぶ極端な温度範囲に耐性がある
- 最高316°C (600°F)までの高温表面に直接塗装可能
- 被覆材下腐食 (CUI) を防止
- 塩化物に起因する断熱オーステナイト系ステンレス鋼の外部応力腐食割れを防止
- 極低温の使用にも適合
- 優れた耐紫外線性を持つことから屋外使用時において優れた耐候性を有す
- 塗装作業性が良好：1液タイプ、再塗装性、表面処理性
- 世界中で証明された優れた使用実績



**PPG Protective &
Marine Coatings**

Bringing innovation to the surface.™

PPG HI-TEMP 1027™

過酷な温度条件において優れた保護力でCUI(被覆材下腐食)を防止

実績のある、長期の保護力

PPG HI-TEMP 1027は被覆材下及び被覆材のない炭素鋼(カーボンスチール)及びステンレス鋼を-185°Cから650°C (-300°F~1,200°F)に及び極端な温度、熱サイクル及びサーマルショック状況による腐食から防止します。高温な鋼板にも塗装可能なため稼働休止時間を大幅に短縮でき、経費削減が見込まれます。

被覆材下の腐食(CUI)は製油所及び石油化学工場において高コストを招く主要な懸案事項のひとつです。CUIには想定外の施設休止、環境問題の発生、人的被害、及びそれに伴う企業イメージへの悪影響につながる可能性があります。従いまして、防食塗料には効果的に機能するための重要な特性が数多くあります。

熱湯に対する耐性

PPG HI-TEMP 1027は断続的な熱湯浸漬に耐性があります。継続的に変化する過酷で厳しい実際の使用に耐えるために設計されており、繰り返される熱周期、サーマルショック、熱湯への浸漬を経て、高温に戻る状況に耐えることができます。

高温及びサーマルショックに対する耐性

サーマルショックは重大なCUIの原因となります。サーマルショックはクラック、フレーキング、剥離を引き起こす可能性があります。被覆材下の鋼板に水分が入り込み、CUIにつながります。PPG HI-TEMP 1027の耐熱塗装は極低温度から650°C(1,200°F)に及び高温度までの厳しい周期条件に影響なく耐え得る塗膜を提供します。

最高316°C(600°F)までの高温な鋼板への直接塗装

CUIの影響を受ける化学工場及び製油所では機器を停止することが非常に困難ですがCUIを防止するために高温な鋼板への直接塗装の可・不可が重要課題です。

この現状に対応するため、PPG HI-TEMP 1027は稼働中の高温設備及び最高316°C(600°F)までの表面に塗装可能です。これにより工場の稼働休止及びそれに伴う潜在的収益の損失が低減できます。



メンテナンスに最適 - タッチアップ及び補修が容易

塗装作業性が良好なPPG HI-TEMP 1027は下地に寛容で、強固に密着した錆面への補修塗装が可能です。タッチアップ及び補修作業の際に下地の状態を選ばず再塗装が可能です。

使用が容易

従来のCUIシステムはエポキシベースであるため少なくとも2液性で、一般的に作業がより困難です。PPG HI-TEMP 1027は1液性塗料であり、スプレー・刷毛・ローラーで塗装することが可能です。また常温で硬化する為、加熱乾燥(焼入れ)は必要ありません。

世界中で証明された優れた実績

海外におけるメジャーな製油所及び石油化学工場では過去10年以上、PPG HI-TEMP 1027が使用されてきました。顧客リスト及びケーススタディはご要望に応じて提供いたします。詳細につきましては弊社営業担当者にお問い合わせ下さい。